近代日本文化研究Ⅰ

科目ナンバリング　JLT-101
必修　　2単位

細田　明宏

1. 授業の概要（ねらい）

近代日本における庶民的な芸能文化のあり方について学びます。明治期には、近代国家が成立するのに伴い、西洋から入ってきた文化が日本に定着していきました。その過程において、一般の人々の文化はどのように変わっていったのでしょうか。本講義ではそのような関心にもとづき、寄席芸能の近代以降の変化について見ていきます。

2. 授業の到達目標

近代における寄席および寄席芸について基礎的な理解を得ること、そしてそれを他者に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験（60%）、小テスト・レポート（20%）、平常点（20%）を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に授業内容の概要を配布（PDFファイル）するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨んでもらいたい。

6. その他履修上の注意事項

寄席芸について、テレビ番組やインターネット上の動画など手軽に触れられるものも多いので、できるだけ触れてください。

7. 授業内容

【第1回】　寄席（1）―概要
【第2回】　寄席（2）―特色
【第3回】　寄席芸1：講談（1）―成り立ち
【第4回】　寄席芸1：講談（2）―近代における展開
【第5回】　寄席芸2：落語（1）―成り立ち
【第6回】　寄席芸2：落語（2）―三遊亭円朝
【第7回】　寄席芸2：落語（3）―近代における展開
【第8回】　寄席芸3：漫才（1）―祝福芸としての万歳
【第9回】　寄席芸3：漫才（2）―漫才の成立
【第10回】　寄席芸4：身体動作で見せる芸
【第11回】　寄席芸5：娘義太夫（1）―義太夫節とは
【第12回】　寄席芸5：娘義太夫（2）―成り立ち
【第13回】　寄席芸6：車人形（1）―仕組み
【第14回】　寄席芸6：車人形（2）―展開
【第15回】　まとめ（期末試験）